

ファッション
One Point
アドバイス

「ワンピガウン」が 狙い目

お店のウィンドーには、春らしい薄手の素材やパステルカラーのシャツやスカート、ワンピースなどが飾られ、寒さで凍えていた私たちの購買意欲をにわか刺激しています。

そんな春物の一押しアイテムとして、「ワンピガウン」を紹介しましょう。

昨シーズンから前立て部分がボタンで全開できるワンピースが人気でした。特に、小花柄の薄手のワンピースは多くのメーカーから発売され、当時の記事では、「花柄ワンピースを羽織物代わりに！」という着こなしを提案しました。

この春も昨年同様、羽織物にもなるワンピースが注目なのですが、今年の主流は『ワンピガウン』と呼ばれるタイプ。

名前の通り、まさにガウンのように、あるいは着物の打ち合わせのように、羽織えるワンピースです。もちろん、前立て付きのボタンを外せば全開できるワンピースも、今年はこの名前と呼ばれています。

ボタンをしっかり留めて、またしっかり見頃を打ち合わせて紐や細いベルトを巻いて着用するのはもちろんのこと、ガウンのようにサラリと上からの羽織っても様（さま）になるお洒落なアイテムです。

この春は花柄だけでなく、襟付きの格子柄やストライプなどカチツとした柄が意外に多いのも特徴。これを、ジーンズとTシャツの上に羽織ると、昨年にはなかったスポーティーで清潔感あふれる装いになります。

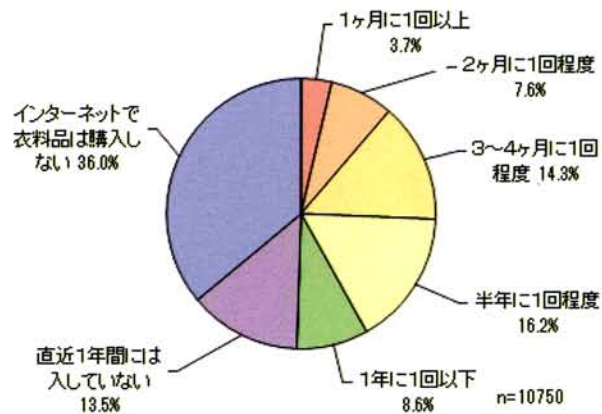
小花柄の薄手ワンピをすでに購入している人は、今年らしいストライプやギンガムチェックなどの薄手綿素材のものを追加してみたいかでしょうか。



Clipbox Topics

ネット通販での衣料購入 最近1年間に約5割が経験

アンケートデータライブラリ(MyEL)では、今年1月に10,750人を対象に、ネット通販での衣料品購入の実態を調査して発表しました。



これによると最近1年間に、ファッション通販サイトで衣料品を購入した人は49.5%ということがわかりました。また購入者は男性4割、女性6割。通販サイトの重視点は「商品価格」「送料が安い・無料」「豊富な品揃え」が各5割でトップ3(複数回答)。「サイズ展開が豊富」「品質がよい」が3割弱となっています。

品質表示については、販売時に素材の構成に関する表示(組成表示)を表示しなければならないと法律で義務付けられています。通販サイトによっては、この表示のないものもありますので注意して下さい。また、洗濯などの取扱い表示については、製品への取付け義務はありますが、販売時の表示義務はありません。それでも、ネット上で取り扱いに関して、手洗いとかドライクリーニングといった説明の有るサイトの方が良心的だといえるでしょう。



ファッション・ワンポイント:「ワンピガウン」が狙い目
クリップボックス・トピックス:ネット通販での衣料購入5割
衣類のケア講座:ピロートなどの毛だおれの復元方法
衣生活の知恵:防虫剤は衣類のタイプで使い分けましょう



衣類のケア講座

ビロードなどの起毛製品は
毛だおれがシミのように見えます

●ベルベットやペロアなどの毛羽立った生地を 起毛製品といいます

ベルベットの毛羽には、絹やレーヨンが使われています。一般に起毛素材はレーヨンが多いようです。レーヨン繊維は、大変水を吸収しやすい性質があります。このために、水が着くとその部分の毛羽が水を吸収して、倒れてしまいます。乾燥しても倒れた毛羽はそのままになってしまいますのでシミのように見えます。



水を含んだタオルでこれを拭いても、状態は悪化するだけです。

●アイロンのスチームで復元できます

この毛だおれを復元する方法は、スチームが効果的です。乾いた状態の生地の表面から 5cm くらい離して、スチームアイロンの蒸気だけを吹き付けます。



スチームを吹き付けると、湿気によって毛羽に付けられていた形が、本来の毛羽の状態に起き上がってきます。毛羽が起き上がって復元したらそのまま乾燥させ、ブラッシングして毛並みを整えて下さい。

ベルベットなどの新品には、撥水加工（はっすいかこう）という水を弾く加工が施されています。この加工は長期間のうちにその効果が徐々に低下してきます。ドライクリーニングの加熱乾燥である程度回復しますが、場合によっては再度撥水加工をする必要があります。そのような時にはクリーニング店にご相談下さい。



防虫剤は衣類のタイプで
使い分けましょう



防虫剤には、樟脳、パラジクロルベンゼン、ナフタリンなど臭いがあるものと、無臭のピレスロイド系のものがあります。

効き目がゆっくりと持続するナフタリンは、長期保存品に適していますが、バッグやベルトなどの塩化ビニール素材を変質させることがあります。即効性のあるパラジクロルベンゼンは、ラメや金銀糸を変質させ、光沢がなくなってしまうからラメ製品などには使えません。また、有臭の異なる種類の防虫剤を組み合わせると溶けてシミになりますから注意しましょう。

ゴンやムシューダなどの無臭のピレスロイド系は、オールマイティですが、銅を含む金属ボタンなどが黒くなってしまうことがありますので配慮が必要です。